



【戦後70年を考える】リブ・イン・ピース@カフェ

## 育鵬社教科書採択を許すな!!

～「子どもたちに渡すな! あぶない教科書大阪の会」パンフレットの読み合わせ～

日時 4月29日(水・休) 13:30～16:30

場所 中央区民センター (地下鉄堺筋線・中央線「堺筋本町」駅③出口3分 地図参照)

資料代 200円 (パンフレット代込み)

3月20日、自民・公明両党は、後方支援の拡大などを可能とする「安全保障法制」の全体像について合意しました。武器弾薬の運搬などの「後方支援」はまさに戦闘行為そのものです。日本は「戦争をする国」に向かって大きな一歩を踏み出していました。

これと併せて政府がすすめているのが「戦争ができる国民」の育成です。

育鵬社など「つくる会」系の教科書は、戦争における加害の実態についてはもちろんのこと、被害についても詳しくは書いていません。他方で、「日露戦争」「特攻隊」「沖縄戦」などは英雄的に描いています。これは戦争の悲惨さから目をそむけさせ、戦争を美しく描写することによって、子どもたちに「戦争は絶対にしてはならないものではなく、時には必要であり、美しい行為なのだ」というメッセージを送っていることにほかなりません。

育鵬社版の教科書は、首長主導の強引なやり方で年々その採択数を伸ばしています。前回は、多文化共生の伝統のある東大阪市でまさかの採択となり、今回は大阪市もその可能性が高まっています。

今回の企画では、「子どもたちに渡すな! あぶない教科書大阪の会」作成のパンフレット(左上)を使って、育鵬社版教科書を他の教科書と比較しながら、その問題点を具体的に明らかにしていきたいと思います。

リブ・イン・ピース☆9+25

TEL 090-5094-9483 (事務局 大阪)

<http://www.liveinpeace925.com/>

E-mail [info@liveinpeace925.com](mailto:info@liveinpeace925.com)

